

を増額し、支出総額を3億71万1千円とするものです。

◎平成29年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)

補正の主なものは、収益的支出において、下水道使用料徴収業務委託料に2千207万3千円を増額し、支出総額を10億3千585万2千円とするものです。

◎あつせんの申立ての変更について(定例会最終日提案)

第45回定例会で議決を得た東京電力福島第一原子力発電所事故に係る原子力損害賠償紛争解決センターへのあつせんの申立てについて、損害賠償請求額に有害鳥獣対策経費等102万850円を増額したことから、申立ての金額を変更するものです。

○申立て予定額
1億7千774万4千485円
及び遅延損害金



決算審査特別委員会の現地調査(みやぎ蔵王白石スキー場)

本会議質疑より

◎白石市スキー場条例の一部を改正する条例

〔質疑〕半日券の利用時間を30分延長することで、具体的に利用者にとどのような利便性が向上するのか伺う。

〔答弁〕現在、半日券の区分は、4時間30分としている。スキースクールは午前10時から12時までの2時間、それ

から午後1時から3時までの2時間で行なっており、午前10時から開始だと午後2時30分で半日券の利用時間が終わってしまうことから、利用効果を高めるため30分延長するものである。

◎物品購入契約の締結について

〔質疑〕圧雪車の購入契約について、一社特命による随意契約とした理由を伺う。

〔答弁〕国内では3社から圧雪車が販売されているが、購入にあたり、故障が少なくアフターサービス体制が充実していること、荷台の大きい車両であること、燃費やメンテナンスなどランニングコストがかからない車両であること、排気ガスによる環境への影響が少ない車両であること、これら4つの条件を満たすものを選定した。

選定した車両を取り扱う業者は限られており、東北地区では日本ケーブル株式会社東北支店のみであることから、一社特命による随意契約としたものである。

◎平成28年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕平成28年度一般会計収支決算状況について、実質単年度収支が5億1千891万1千143円の赤字となっている。この要因について伺う。

〔答弁〕平成28年度については、単年度収支が赤字で市債の繰上償還がなく、また、財政調整基金の取り崩しが9億4千258万1千円で、積立金の4億6千869万3千163円より大きかったことから赤字となったものである。

〔質疑〕赤字となった要因について、具体的にどのように分析しているのか伺う。

〔答弁〕平成28年度決算については、地方交付税が前年度よりも減っており、ここ数年は地方交付税が減額の傾向にあるということがその一つの要因であると考えている。

また、地方創生事業などの支出もあげられる。地方創生事業については、全額が国の負担というわけではないため、本市にも負担がいくと伺う。

これらのことが主な要因となり、今回の決算結果になったと分析している。

◎平成28年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について

〔質疑〕本市の水道事業における現状、今後の取り組みについて伺う。

〔答弁〕本市の水道事業は、水需要の減少による収益減少が続く一方、施設の更新需要が増加し、財政的に厳しい状況となることが予測される。

また、上下水道事業ともに退職等により経験豊富な技術職員が急速に減少しており、人材の育成と確保、次の世代への技術の継承が大きな課題となっている。

今後市民のライフラインである水道を持続していくためには、経営の効率化とコストの縮減に努めるとともに、上下水道の公共性を維持しつつ、包括的な民間委託や広域化、広域連携を積極的に進めなければならないと考えている。